

未来の夢計画

新地区補助金 ベストプラクティスとアドバイス



新地区補助金は、ロータリアンが提唱する小規模で短期の活動を支援する目的で、地区に一括で支払われる補助金です。新地区補助金とグローバル補助金の[授与と受諾の条件を順守する限り、地区が新地区補助金](#)プロジェクトを運営する際にロータリー財団から受ける直接的な監督は、最小限となります。地区は、地区補助金の活動に使用するために、地区財団活動資金(DDF)の50パーセントまでを申請できます。この金額は、恒久基金のシェア収益を含め、3年前の地区の年次プログラム基金寄付から生じたDDFの額に基づいて決定されます。

試験地区は、この資金の使用を計画、配分、報告するための内部手続きを設定するよう奨励されています。計画年度である2009-10年度に使用計画を作成し、新地区補助金の申請書とともに財団に提出してください。さらに、新地区補助金の活動を管理する際には、以下のベストプラクティスとアドバイスをぜひ参考にしてください。

配分委員会

クラブから提出された DDF 申請を審査する、3、4 名のロータリアンから成る新地区補助金配分委員会を、計画年度中に設置することができます。申請書を審査する際には、

- 地区ガバナーとロータリー財団委員長に相談し、新地区補助金のために配分するDDFの額を決定します。
- プロジェクトの質やクラブからの年次プログラム基金と財団への寄付歴といった要素を考慮するとともに、配分をクラブからの拠出金に同額上乗せするものとするか、それとも財団活動への参加を奨励するものとするのかを決定します。
- 地区が承認し、クラブへ配分するのに必要な資金総額を決定します(新地区補助金の申請には、実際に必要となったときのための小額の資金を含めておくとい良いでしょう)。

支給基準

奨学金、職業研修チーム、国際奉仕や人道的奉仕プロジェクトなど、新地区補助金で支援する活動のための支給基準と期待事項を定める地区チームを結成することもできます。例えば、新地区補助金による奨学金の支給基準を設定する場合、次のような考慮点があります。

- 奨学金の金額は「一律」とするか、それとも個々のケースで違う金額とするか。
- すべての専攻分野に新地区補助金の奨学金の申請を認めるか、それとも特定の専攻分野のみとするか。
- 特定の学位レベル(学士、修士など)の申請のみに限定するか。
- 地元と海外の両方の申請者を支援するか。

地区内の申請手続きと締切日

新地区補助金活動を希望するクラブからの申請について、地区内部の手続きと締切日を定めましょう。

- 新地区補助金を地区に申請するクラブ用の書式に加え、地区は、奨学金申請者と職業研修チームメンバーのための申請書を別途作成することもできます。
- クラブからのDDF申請書の提出締切日を定めることで、地区は、計画年度中に、支援するプロジェクトを選び、ロータリー財団に新地区補助金の申請書を提出できます。

地区の成功例を記録し、伝える

今後の参考とするために、新地区補助金プロジェクトの承認、支払い、報告に関して成功した方法、ならびに新地区補助金活動の成功例を記録してください。また、こうした成功例を、[LinkedInの未来の夢試験グループ](#)でほかの試験地区と共有しましょう。